

平泉

広報ひらいずみ

輝きつむぐ理想郷

4

2024

April

NO.802



Contents

- 02 中学生が考えた、平泉のSDGs
- 03 かかりつけ医を持ちましょう
- 04 令和6年度町長施政方針演述
- 17 【写真特集】慣れ親しんだ校舎、園舎に別れ告げる

★COVER

中学生が町の「SDGs」ロゴマーク作成

町内在住の中学1年生5人が、町主催の「中学生アイデア実現プロジェクト」に参加。持続可能な開発目標(SDGs)の達成や取り組みへの意識高揚を目指し、町オリジナルのデザインを協力して考え、町の特徴を盛り込んだ3つのロゴマークが完成しました。

【2ページに続く】



かかりつけ医を 持ちましょう

かかりつけ医と病院、どちらもそれぞれに重要な役割があります。違いを理解し、まずはかかりつけ医に相談し、受診しましょう。

皆さんにとって、頼りになるかかりつけ医をもつことは、健康を維持・増進するためにも大切なことです。かかりつけ医は地域に密着して、子どもから大人まで世代を問わず、住民の健康を支えています。

■問い合わせ先…保健センター ☎46-5571

かかりつけ医とは

かかりつけ医とは、日頃から健康管理や初期の治療をしてくれる身近な医師(医療機関)のことです。

かかりつけ医には、次のような良い点があります。

- 症状、病歴、健康状態を把握しているの、いざというときにすぐに対応してくれます
- 食事や運動など、日常の健康管理アドバイスしてくれます
- 入院や高度な検査が必要な場合などに、適切な病院・診療科を指示、紹介してもらうことができます



病院と診療所の役割の違い

【一次医療機関】 民間の診療所(医院)、国保診療所、休日・夜間救急当番医など

比較的症状の軽い患者の初期診療、日常的な病気や生活習慣病、安定した慢性疾患の診療を行います。

【二次医療機関】 県立病院、民間の病院

専門の医療設備を整備して、入院や手術が必要な重症患者の診療を行います。

【三次医療機関】 高度救命救急センター

命に関わる特に症状の重い患者や二次医療機関から紹介された患者の入院治療を行います。

病院の受診は、かかりつけ医からの紹介で

風邪などの日常的な病気や生活習慣病、安定した慢性疾患の場合は、できるだけ通常の診療時間内に、診療所(医院)などのかかりつけ医を受診しましょう。

精密検査やより高度な治療が必要になったときは、かかりつけ医の紹介で病院を受診しましょう。



中学生が考案したロゴマーク。左はおわん、中央は中尊寺ハス、右は巻き物をモチーフにデザイン



中学生が考えた、平泉のSDGsのシンボル



【表紙から続く】プロジェクトは2月に実施。5人はSDGsの理念などを学んだほか、町地域おこし協力隊の山内彩さんらからデザインツール「figma(フイグマ)」の使い方を教わり、それぞれの案を持ち寄って3種類を決めました。

3月18日には、ロゴマークの完成を青木町長に報告。青木町長は「町全体に取り組みを広げたい」と語りました。

町は、SDGsの意識高揚や推進に向け、マークを活用したバッジを製作するなどしてPRするほか、個人や企業などでの活用も促していきます。

Interview

「町中学生アイデア実現プロジェクト」に参加し、町のSDGsロゴマークを作成した中学生に聞きました。



ロゴマークを青木町長(左)に紹介する(右から)本間嘉悠さん、瀧澤実央さん、佐藤沙和さん、藤原蓮さん、菊地杏さん

菊地 杏さん(9区)

ロゴマークを考える中で平泉の魅力を知り、家族とも話し合うことでSDGsを考えるきっかけになった。

佐藤 沙和さん(8区)

家族と相談しながら、おわんのロゴマークを考えた。マークを通じて、SDGsの思いが伝わってくれるとうれしい。

藤原 蓮さん(2区)

編集ソフトを使ったデザインは、線や配色など、手描きより大変だった。町でマークを役立ててほしい。

瀧澤 実央さん(8区)

平泉の特色、伝えたいことを考えながらロゴマークを作った。2030年を過ぎても、マークを活用してほしい。

本間 嘉悠さん(11区)

色の配置を考えることで、17色の意味を勉強できた。マークを通じ、みんなの心にSDGsの大切さを伝えたい。

令和6年度町長施政方針演述

町民の命と暮らしを守り、町民の 声が町政に響くまちづくりを

青木町長は町議会3月会議が招集された3月5日、施政方針演述で令和6年度の町政運営の基本方針と、重点的に行う施策を述べました。その主な内容を要約してお知らせします。

はじめに

新型コロナウイルス感染症は未だ終息には至っていませんが、5類感染症に移行されたことにより、住民生活や経済活動が平常を取り戻しつつあり、ようやく先行きに明るさを感じられるようになってきました。

一方、物価高騰対策や自然災害対策など、住民生活や経済活動における安全・安心の確保がこれまで以上に強く求められています。

このような中、町は、議会と共に両輪となって、町民の命と暮らし

を守り、町民の声が町政に響くまちづくりを推進します。

重点的に行う施策

移住・定住の推進

子育て環境の充実や結婚から子育て期までの経済的支援を継続するとともに、地域おこし協力隊の配置人数を増やして町の課題解決と将来的な移住につながるよう支援します。移住や起業につながる「スバルタキャン」を継続して実施し、関係人口の創出・拡大を図ります。

町民参画のまちづくりの推進

多くの町民が意見などをまちづくりに反映し、主体的にまちづくりに参加できるよう、さまざまな機会を通じて意見聴取に努めます。行政区地域課題対応事業などにより、役場と町民が一体となって課題解決に取り組めます。

町民が分かりやすく、より身近に情報が入手できるよう、町のホームページをリニューアルするとともに、町公式LINE(ライン)の運用を始めます。

保育・子育て支援の充実

4月に子育て支援課を設置し、併せて課内にこども家庭センターを設置して母子保健と児童福祉に係る事業を一体的に推進するとともに、妊娠から出産、子育て期まで

の切れ目のない支援に向けて、子どもの心身の健康、発育に関する子育て相談や情報提供など、柔軟に対応できる体制を整備するなど、子育て支援の充実を図ります。

また、ひとり親家庭の保育料軽減、第2子以降の保育料無償化、在宅育児支援金の給付および幼児教育の無償化、18歳までの医療費の無料化および出産祝金制度を継続して実施します。



相談室(奥)を設けた子育て支援課(保健センター内)

地域福祉の充実

物価高騰による低所得世帯子育て世帯への影響、高齢化社会の進展による一人暮らし高齢者世帯への対応など、複雑化・多様化してきた地域における福祉課題に

対して、民生委員・児童委員をはじめ各団体との連携活動を通して、地域での見守りやつながりに向けた支援を図るとともに、国の総合経済対策を踏まえて低所得者への経済的支援を継続的に行います。

町健康福祉交流館は、町民相互の交流の場、健康増進の場としてのさらなる利活用に向けて、運営面での効率化への検証を行い、経営の健全化を図るとともに施設内の設備機能向上に向けた整備検討を進めます。



町健康福祉交流館

高齢者福祉の充実

地域住民主体による「平泉いきいき百歳体操」への継続的な支援や各種介護予防施策を推進するとともに、本年度から75歳以上の後

期高齢者を対象に疾病予防・重症化予防・フレイル予防などを行う「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」に新たに取り組み、高齢者の生きがいづくりと健康寿命の延伸を図ります。

障がい者福祉の充実

日常的な相談から保健・医療・福祉サービスの提供、住まいや就労の場の確保など地域生活への支援体制を、一関地区障害者地域自立支援協議会と連携して推進します。障がいの特性を踏まえたきめ細やかなサービスを提供します。

保健・医療の充実

重点項目を「がん」と「循環器病」と定め、各種がん検診、特定健康診査、健康教室、健康相談事業を通じ、健康の保持増進や個人に合わせた支援を図ります。

全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てできるよう、一人ひとりに寄り添った相談や出産・子育て応援交付金などによる経済的支援を行い、産後ケア事業や子育て支援教室などを継続し、母子の健康と子育てを支援します。

新型コロナウイルス感染症の動向を注視し、基本的な感染防止対

策を講じるとともに、新型コロナウイルスワクチン接種についても、国や県の動向を注視しながら、適切に接種ができるよう体制を整えます。

国民健康保険税の統一化に向けて、賦課方式を4方式から3方式へ変更する税率改正を、令和9年度まで段階的に進めます。

農業の振興

認定農業者や地域農業の担い手などへの農業機械導入支援を継続するとともに、新規就農者支援事業による農業後継者と新規就農者の育成・確保に努めます。

当地方の主要園芸品目であるトマト、ナス、ピーマンのほか、地域の特性を生かした野菜・花きの生産振興や、道の駅平泉への出荷促進に向けて、関係機関と連携しながら支援します。

ブランド肉牛「いわて南牛」を安定して供給できる体制の確立を推進するとともに、牛伝染性リンパ腫対策を継続し、安定した畜産経営が図られるよう関係機関と連携して支援します。

農山村環境の保全

東稲山麓地域農業遺産推進協議会を中心に、営農システムや地域

資源を継承し、日本農業遺産に認定された利点を生かして地域活性化を図るため、関係機関と協力した取り組みを進めます。

多面的機能支払制度や中山間地域等直接支払制度の取り組みを継続するとともに、集落戦略の作成を推進し、農村集落活動の活性化や農村環境の保全と機能向上に対する取り組みを支援します。

農地の利用集積や農作業受託の促進などを地域単位で取り組めるよう、地域計画の策定を推進します。

鳥獣被害対策実施部隊による捕獲や、電気柵の設置などの対策を実施するとともに、鳥獣被害対策実施隊員の育成・確保に向けて支援します。

【6ページに続く】



鳥獣被害対策の電気柵

森林経営管理制度の運用による経営管理権集積計画の策定を進め、適切な経営管理が行われていない人工林の森林整備を進めます。県行造林跡地への桜の植樹、駒形山、経塚山、首羽山への登山道や西行桜の森、大文字キャンプ場の環境整備、束稲山の桜情景復活事業などによって誘客効果を高め、利用促進に努めます。

観光の振興



金色堂建立900年を迎える中尊寺

1月から東京国立博物館で開催されている「建立900年特別展 中尊寺金色堂」と併せ、本県が今年10～12月、JR東日本の重点販売地域に指定されたことから、平泉観光推進実行委員会を中心に関係団体が一体となり、各種事業の取

り組みを積極的に推進します。

日本農業遺産に認定された束稲山麓地域の新たな観光資源の発掘と活用により、自然や伝統工芸、坐禅、農業などの体験コンテンツの充実を図り、滞在型観光への取り組みを一層推進します。

商工業の振興

平泉商工会や関係団体などと連携し、引き続き事業者により添った支援を推進します。

新たに、魅力あふれる商店づくり支援事業を展開し、個店の売り上げの向上や地域経済の活性化につなげる取り組みを支援します。空き店舗などの実態調査を実施し、現状の把握や所有者の意向確認を行い、新規開店を希望する起業家や事業者とのマッチングなどを見据えて取り組みを進めます。

地域企業経営強化支援事業により事業規模の拡大と雇用の創出を支援するとともに、店舗リフォーム促進支援事業や空き店舗対策事業の補助内容の拡充による支援の強化、販路開拓や新商品の開発などを継続して支援します。

働く場の充実

新たな工業団地の検討と隣接す

必要な移動手段となるよう引き続き運行します。

多様な公共交通の組み合わせにより、町民と観光客のニーズや効率的な運行、公共交通網の維持を図るため、地域公共交通会議を法定協議会に移行して地域公共交通計画を策定し、より良い公共交通網の形成に努めます。

環境保全の推進

電気料金や燃料費が高騰していることから、一般家庭での住宅用新エネルギー設備の設置に対する補助を継続します。

エネルギー回収型一般廃棄物処理施設、マテリアルリサイクル推進施設、新最終処分場の建設は、一関市と一関地区広域行政組合と連携して整備を進めます。

空き家対策の推進

空き家対策は、関連する対策を総合的かつ計画的に推進するとともに、空家等対策の推進に関する特別措置法の一部改正に伴う対応方針について検討します。

空き家・空き地バンクへの物件登録を促進し、空き家などの有効活用を促進するため、専門的に業務を行う地域おこし協力隊員を配

る国道4号の4車線化の実現に向けた取り組みを合わせて進め、若者の雇用の創出を目指します。

商工会やハローワークなどの関係機関・団体と連携・情報共有しながら、企業の動向やニーズの把握、活性化を図るとともに、新たに若者等人材育成支援事業や移住定住促進家賃支援事業を実施し、若者などの町内事業所への就職や移住者の働く場の確保につなげていきます。

安全・安心なまちづくり

町防災マップの更新や避難所運営マニュアルなどの計画を策定するとともに、気象災害や大地震などの大規模災害に備え、消防関係機関・団体、各地の自主防災組織などと一層の連携を深め、防災意識の高揚と地域防災力の強化を図ります。

高齢の運転者による交通事故の防止に向けて、自家用車への安全装置の設置に対する支援を継続するとともに、運転免許証を自主的に返納した高齢者に対して、新たに公共交通利用の生活支援を行います。

要支援者に対する個別避難計画は、地域団体などとの連携協力を

置き、取り組みを強化します。

情報環境の充実

行政サービスの効率化と利便性の向上を図るため、引き続きマイナンバー制度の普及啓発とマイナンバーカードの取得率の向上を促進するとともに、マイナンバーカードを利用したオンラインによる行政手続きの整備に向けて取り組みます。

景観の保全・整備



景観に配慮した建物が並ぶ毛越寺通り

歴史文化的景観や豊かな自然と美しい景観を守り、次世代へ継承するため、町民や地域、企業などが一体となって世界遺産のまちにふさわしい景観の保持に努めます。景観計画は、計画の見直しに向

図りながら計画作成件数の増加に向けて取り組みます。



令和2年度に発行した町防災マップ

町道大佐3号線を含む町道種の沢大佐線と町道衣関線の整備を引き続き実施し、道路舗装や橋梁修繕を計画的に進めます。

上下水道の整備

水道管の更新や耐震化、鉛製給水管の布設替え工事、水道施設の耐震診断調査を実施し、計画的に更新を実施します。

町下水道事業経営戦略に基づき、経営の質と効率性の向上に取り組めます。合併処理浄化槽の設置を、引き続き支援します。

けた準備を進めます。

教育の振興

町教育大綱に掲げる基本理念「一人ひとりが輝き、幸せを実感できるまちの実現」を目指し、家庭・学校・地域・行政が連携し、世代を超えて学び続けるまちづくりを推進し、さらなる教育の発展を目指します。

平泉の文化遺産の保存と活用

中尊寺金色堂建立900年記念事業として企画展を開催し、奥州藤原氏の平和への希求や文化遺産の理念とその価値を発信します。世界遺産の拡張登録は、県と共に、柳之御所遺跡の推薦に向けて取り組みます。

町長施政方針演述の全文は、町ホームページで確認できます。

→



令和6年度 教育行政方針演述

多様な教育実践の工夫を取り入れ、新しい学びの在り方へ進化を

吉野新平教育長は町議会3月会議が招集された3月5日、教育行政方針演述で令和6年度の教育行政施策を述べました。その主な内容を要約してお知らせします。

はじめに

新年度は、ICT(情報通信技術)など多様な教育実践の工夫を積極的に取り入れ、新しい学びの在り方へと進化していく年となるよう、教育活動を再構築していく必要があります。コミュニティ・スクールを中心とした学校づくりや、持続可能な教育、ICTによる学習活動などの教育活動を推進します。

能登半島地震で多くの尊い命が犠牲になり、また、世界各地の紛争や軍事侵略など不安な時代において、町民は、傷ついた多くの人々に思いをはせ、手を差し伸べていく使命があるとともに、平泉が長く



きるまちの実現」に向け、さらなる町教育の発展を目指します。

重点施策

生きる力を育む学校教育の推進

■確かな学力の育成

「知識や技能」「思考力、判断力、表現力」「学びに向かう力、人間性」を総合的に育むことを目指し、ICTなどを活用した学習活動を推進します。

幼保小中の連携を図り、子どもたちを誰一人取り残すことなく育成する学びと、多様な個性を取り入れた学びの一体的な充実を図ります。

■豊かな心の育成

平泉学を軸とした体験活動や道徳教育を通して自己を見つめ、互いの個性を認め合える子どもたちの育成を目指します。特に「いじめは絶対に許されない」という強い認識を持ち、学校での組織的な対応や、関係機関との連携による未然防止と早期発見・迅速かつ適切な対応に努めます。

■健やかな体の育成

子どもたちが自らの体力や健康に関心を持ち、体力の向上と心身の健康の保持増進に努め、運動に

親しむ資質や能力を育成します。

子どもの心身の調和的発達を図るため、地場産品を多用した学校給食による食育の推進、情報機器の乱用防止を含めた基本的な生活習慣の確立、心身ともに健康な生活ができる子どもたちの育成を図ります。

■個に応じた教育の推進

学習や生活の中で特別な支援を必要とする子どもたちが抱える悩みや困難に寄り添うとともに、不登校の子どもたちの原因や背景を個別に把握し、「カラフル」などを活用した適切な支援を行います。

それぞれの多様性を認め、互いの価値を尊重し合う子どもたちの育成を図ります。

子どもの暮らしと学びを育てる家庭教育の向上

■子育てのための学び合いと仲間づくり

学校と連携しながら、保護者同士の学び合いや仲間づくりの機会を提供し、家庭教育学級など、さまざまな体験学習機会の充実を図ります。

必要かつ適切な情報が得られるよう、子育て支援に関する情報発信に取り組めます。

■情報化社会における生活習慣づくり

発達段階に応じた情報メディアとの関わり方について、家庭での情報メディア利用に関するルール作りの定着を目指し、社会教育を中心としたさまざまな体験を通じた学習活動の充実を図ります。

■家庭と地域のつながりづくり

コミュニティ・スクールの実践的な取り組みを生かし、保護者とともに、他の家庭や地域、団体などとのつながる機会を提供することにより、地域ぐるみで家庭教育を支援する体制の充実を図ります。

つどい・学び・つながる社会教育の充実

■「エビカ」を活用した学びと交流の促進

「エビカ」を拠点に、社会教育による「学び」を通じて人々の「つながり」を促進させる多様な学習機会の提供を図ります。

■地域課題を考え合う学びの場づくり

平泉学やコミュニティ・スクールを通じて、子どもを中心に町民が集い、学び合う場を提供することにより、地域課題を考え、その解決に向け、自発的・主体的に行動す

ることができる人材の育成に取り組めます。



「町生涯学習町民のつどい」での神楽の披露

■ライフステージに応じた生涯スポーツの振興

全ての町民がそれぞれのライフステージに応じてスポーツに親しみ、楽しむことができる環境整備を推進し、町スポーツ協会と連携を図りながら、生涯スポーツの振興に努めます。

過去に学び、今を見つめ、未来を考える「全世代型平泉学」

■幼保小中で取り組む系統的な平泉学

「郷土への愛着と誇りの醸成」を図るため、子どもたちの発達段階に応じた学習プログラムを改善

し、子どもたちが未来の自分や平泉について考え、平和への願いを学ぶ機会とすることにより、将来を担う人材育成を推進します。

■世代を超え地域で学ぶ平泉学

子どもから大人まで、地域全体で学び合う学習活動を「全世代型平泉学」と位置付け、地域の事を学び合う機会の充実を図り、地域ぐるみで平泉の将来を担う子どもたちを育む機運を醸成し、持続可能なまちづくりにつながる人材育成に取り組めます。

文化遺産の継承と芸術文化の振興

文化遺産の継承と芸術文化の振興

■文化遺産の価値を学び、守る人材の育成

本年は、中尊寺金色堂の建立900年を迎えることから、町内の各施設と企画展を開催し、平泉に込められた平和・平等への理念や文化遺産の価値に触れる機会の創出に努めます。

■多様な文化活動を活用したまちづくり

町内の各種団体の活動やその活

平泉遺跡群から出土した遺物の保存処理を実施し、恒久的な保存に万全を期します。

■文化遺産を生かした地域振興

史跡の発掘調査を推進するとともに、復元整備や公有化を行い、保存修理を通じた地域振興に取り組めます。

県立平泉世界遺産ガイドダンスセンターと連携した企画展の開催や、地域の魅力の情報発信に取り組めます。

教育行政方針演述の全文は、町ホームページで確認できます。



まちの整備と発展へ 75億円

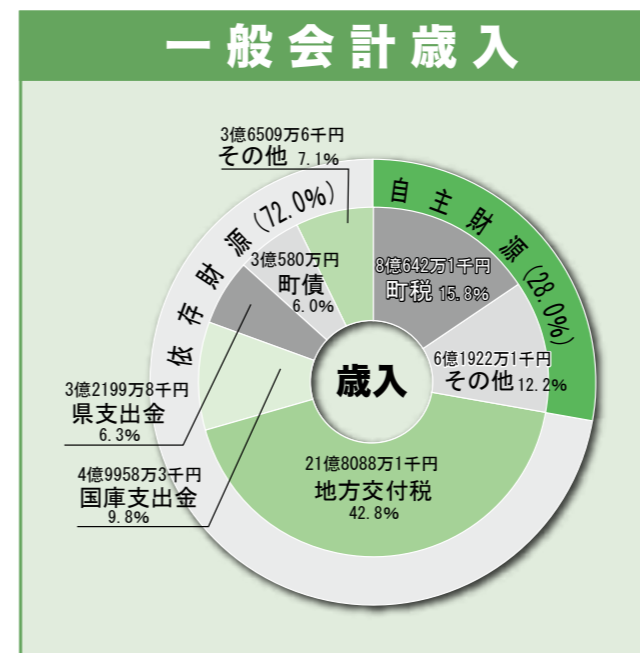
令和6年度の町当初予算は、3月5～14日の会期で開かれた議会定例会3月会議で議決されました。一般会計と特別会計、企業会計の総予算額は75億431万円です。

一般会計は50億9900万円で、前年度(令和5年度)と比較して3億3300万円(7.0%)の増額となりました。

歳入

自主財源は町税、繰入金の増額により、全体で14億2564万2千円と、前年度当初比1571万5千円の増額となりました。

依存財源は国庫支出金、県支出金などの増額により、全体で36億7335万8千円と、前年度当初比3億1728万5千円の増額となりました。



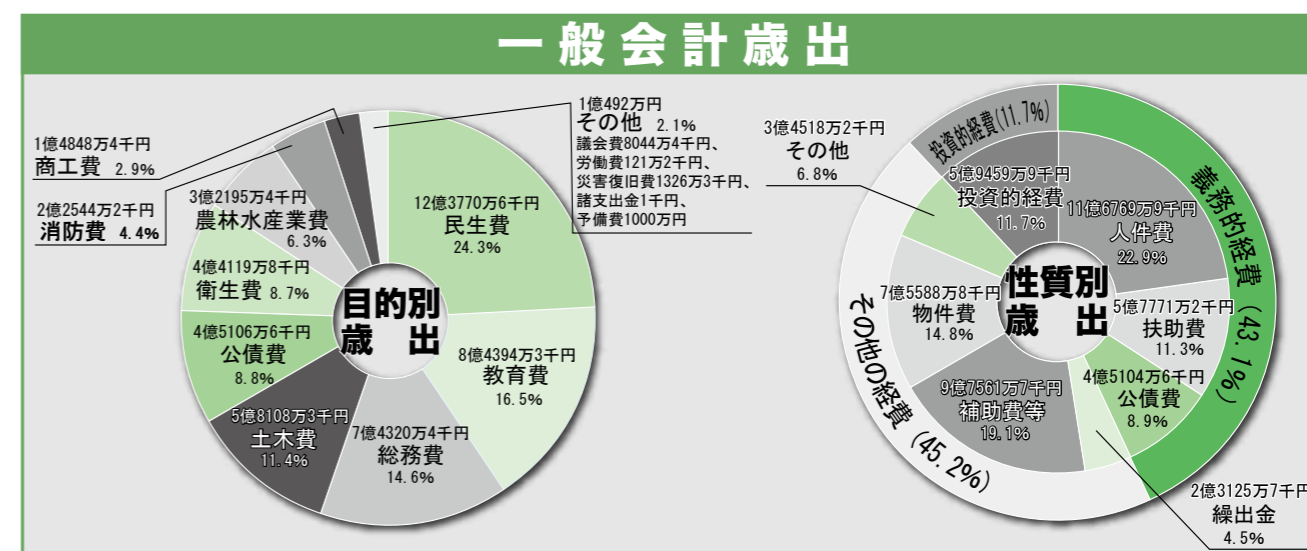
歳出

目的別では、民生費が12億3770万6千円と最も大きな割合を占めており、教育費8億4394万3千円、総務費7億4320万4千円、土木費5億8108万3千円、公債費4億5106万6千円、衛生費4億4119万8千円、農林水産業費3億2195万4千円、以下消防費、商工費と続きます。

性質別に見ると、投資的経費は、道路改良事業などの普通建設事業が5億8133万6千円、災

害復旧事業が1326万3千円と、前年度当初比2億704万7千円の増額となっています。

義務的経費は、人件費が一般職の増額により2316万7千円の増、扶助費は児童福祉費の増などにより3937万円の増、公債費が4億5104万6千円と前年度当初比61万8千円の減となり、全体で21億9645万7千円と、前年度当初比で6191万9千円の増額となりました。



主な事業と予算額(新は新規事業)

主要事業

■中山間地域等直接支払交付金事業	6,849万円
■学習交流施設指定管理料	5,647万円
■多面的機能支払交付金事業	4,890万円
■医療費助成(重度、こども医療、妊産婦、ひとり親、町単独)	4,326万円
■予防接種事業	3,396万円
■地域おこし協力隊事業	2,880万円
■旧町立図書館除却事業	2,398万円
■放課後児童対策事業	2,236万円
■がん等の検診事業	1,817万円
■電子黒板導入事業(小、中学校)	1,352万円
■町ホームページ更新事業	1,200万円
■次世代技術者育成事業(プログラミング)	1,100万円
■東稲山桜情景復活事業	868万円
■都市計画マスタープラン見直し事業	781万円
■まちの元気情報ラジオ配信事業	770万円
■自治体デジタル化推進事業	596万円
■妊婦・乳幼児委託健康診査	531万円
■ICTシステム導入事業(保育所、幼稚園)	494万円
■防災マップ作成事業	310万円
■地域おこし協力隊起業・事業承継支援事業	300万円
■中尊寺金色堂建立900年受入環境整備事業	285万円
■住宅・建築物省エネ改修推進事業	85万円
■空き店舗等実態調査事業	80万円
■移住定住促進家賃補助	24万円
■高齢者運転免許証自主返納者支援事業	20万円
■若者等人材育成支援事業補助金	10万円

投資事業

■史跡保存修理事業(無量光院跡、名勝旧観自在王院庭園)	1億2,526万円
■町道整備事業(樋の沢大佐線、衣関線)	1億138万円
■橋梁長寿命化事業	8,940万円
■高田前団地排水設備整備事業	4,975万円
■発掘調査事業(町内遺跡群、毛越寺)	4,827万円
■第7分団ポンプ付消防自動車更新事業	3,200万円
■長島球場スコアボード改修工事	3,000万円
■町道長寿命化事業	3,000万円
■平泉中学校屋内運動場照明LED化事業	1,676万円
■道の駅電気自動車充電器更新事業	999万円

一部事務組合等負担金

■消防事務委託負担金	1億3,163万円
■一関地区広域行政組合負担金(介護保険部門)	1億4,753万円
■一関地区広域行政組合分担金・負担金(環境衛生部門)	1億8,563万円
■給食事務委託負担金	1,234万円
■市町村総合事務組合負担金	492万円

各会計別総括表(単位:万円)

会計別	令和6年度	令和5年度	比較
一般会計	509,900	476,600	33,300
国民健康保険特別会計	79,710	81,530	△1,820
後期高齢者医療特別会計	10,250	9,720	530
健康福祉交流館特別会計	8,520	8,380	140
町営駐車場特別会計	6,650	6,320	330
下水道事業3条予算	26,889	27,535	△646
合計4条予算	22,629	21,307	1,322
水道事業3条予算	29,330	29,244	86
合計4条予算	56,553	38,330	18,223
合計	750,431	698,965	51,466

※単位未満を四捨五入しているため、合計などが一致しない場合があります。

町債残高見込み

町債は、社会基盤や公共施設の整備などの財源として活用してきましたが、6年度末残高見込みは全会計合わせて87億7,961万円で、町民1人当たり約129万円となります。町債の活用にあたっては、将来の住民に過大な負担を残さないよう財政運営の健全化に努めます。

地方債現在高(見込み)(単位:万円)

会計別	令和6年度	令和5年度	比較
一般会計	486,204	498,019	△11,815
下水道事業会計	182,265	195,546	△13,281
水道事業会計	209,492	191,179	18,313
合計	877,961	884,744	△6,783

一般会計の町民1人当たりの予算額は**747,435円**(682,028円)です。

民生費	教育費	総務費	土木費	公債費
181,429円 (162,714円)	123,709円 (101,228円)	108,943円 (101,034円)	85,178円 (75,793円)	66,119円 (64,637円)
衛生費	農林水産業費	消防費	商工費	その他
64,673円 (60,579円)	47,193円 (46,359円)	33,046円 (34,389円)	21,765円 (20,649円)	15,380円 (14,646円)

※令和6年3月1日現在の人口6,822人。かつこ内は前年度の数値、令和5年3月1日現在の人口6,988人でそれぞれ計算(外国人住民を含む)

食生活改善へ、15人が推進員に

町は、生涯にわたる食育の推進に向け、食を通じた健康づくりの担い手として活動する「食生活改善推進員」を養成する保健栄養教室を、2月まで全6回の日程で開催しました。受講した15人が講義や調理実習を通じて生活の改善や公衆衛生に関する知識を身に付けたほか、減塩を意識した調理について学び、推進員として活動する決意を新たにしました。

7年ぶりの開催となった教室は、昨年11月に開講。町学習交流施設「エピカ」を会場に、調理実習に加えて運動実践などにも取り組みました。2月22日は最終回となり、太りにくい体を作るための目安として、食事を取る時間帯や飲酒量、1日に必要なカロリー量などを

確認しました。修了式では、15人が青木町長から修了証を受け取りました。高橋輝子さん(17区)は「家庭での食事で塩分量を減らすことが大切で、薄味でも慣れると十分だと感じた。今後は推進員として、講座で学んだことを地域に広めていきたい」と語りました。

7年ぶりに保健栄養教室を開催



調理実習で、脂質の少ない豆腐や鶏むね肉を使い、カロリーを抑えた「トマト麻婆豆腐」を作る受講者=2月22日



全6回の講座を終え、青木町長から修了証を受け取る阿部真由美さん(1区)=2月22日

春の藤原まつり「源義経公東下り行列」

義経公役に寺田心さん(俳優)



義経公役の寺田心さん

平泉観光協会(千葉力男会長)は3月5日、春の藤原まつり(5月1〜5日、協会主催)の「源義経公東下り行列」(3日)の源義経公役を、俳優の寺田心さん(15)にジョビィキッズプロダクション所属が務めると発表しました。

寺田さんは愛知県出身。テレビドラマや映画、舞台などで幅広く活躍しています。

義経公の妻「北の方」役や藤原秀衡公役など、他の主要役者は、4月中旬ごろに発表される見込みです。

■藤原まつりに関する問い合わせ先
平泉観光協会 046-21110

発掘最前線 224

平泉を掘る

中尊寺の発掘調査②

清衡期の遺物 中尊寺跡第40・49次調査

中尊寺跡第40次調査は、中尊寺支院の金剛院で平成3年に行われた発掘調査です。この調査では、12世紀と江戸時代に盛られた整地層の下から、他にはあまり見ない形の「かわらけ」が出土しました。写真1。同じ層位から出土した五花鏡の破片。写真2。中国産白磁壺の破片。写真3。12世紀初め頃の清衡の時代のものと考えられます。

第49次調査は、同じく支院の真珠院で平成7年に行われた発掘調査です。この調査で見つかったかわらけは、40次調査のものと同様の特徴があることから、清衡期のものと考えられます。また、「柱状高台」と呼ばれる土器が多く出土しています。写真4。

清衡期の遺物は平泉でも珍しいケロ。



©2013岩手県 ケロ平 designed by センウエンルー



写真1 40次調査で出土した「かわらけ」ろくろで作られていて、椀形であることが特徴です。京都の影響を受けた「手づくねかわらけ」は見つかっていません。



写真2 五花鏡の破片
5枚の花びらを持つ花のような形をしていることから「五花鏡」と呼ばれる形の鏡です。12世紀初め頃のものとみられます。模様のない面を磨いて使っていました。

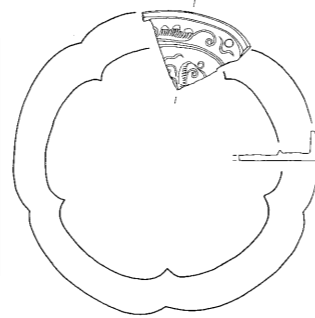


写真3 中国産白磁壺
中国産陶磁器が多く出土する九州・太宰府出土の資料を基に行われている研究から、11世紀後半〜12世紀前半のものと考えられます。



写真4 49次出土のかわらけ(手前)と柱状高台(奥)
柱状高台は、器を乗せる台として使われていたと考えられます。底から柱のように伸びた高台が特徴で、清衡期によくみられる土器の一つです。



「復興の一助として」

町区長会、能登半島地震への義援金を寄託

町区長会(会長・小野寺政雄第7行政区長)は3月1日、能登半島地震の被災地への義援金105,000円を、日本赤十字社町分区長の青木町長に寄託しました。

小野寺会長と鈴木節郎副会長(第12行政区長)が役場を訪れ、義援金を青木町長に贈りました。小野寺会長は「被災地は厳しい状況が続いていると思う。復興の一助にしてほしい」と願いました。

義援金は、町内の全行政区長から募りました。



県読書推進運動功績者表彰を受賞

読み聞かせサークル「パパ♡イ～ヨ」

町内の児童生徒がいる父親でつくるパパさん読み聞かせサークル「パパ♡イ～ヨ」(千葉太一会長、会員15人)は、読書の普及の推進に貢献したとして、県読書推進運動協議会から功績者表彰を受賞しました。

パパ♡イ～ヨは、毎月小学校などに出向き、読み聞かせを展開しています。千葉会長(7区)＝写真中央＝は「読書のさらなる推進のため、仲間を増やしながら活動を継続していきたい」と意気込みを語りました。



ガイドと一緒に史跡を巡る

世界遺産「平泉」史跡探訪

町は3月6～7日、世界遺産「平泉」の関連資産を見学する「ガイドと巡る世界遺産「平泉」史跡探訪」を一関、奥州両市と合同で開催しました。

6日は奥州市の白鳥館遺跡や長者ヶ原廃寺跡、町内の柳之御所遺跡を巡り、7日は一関市の骨寺村荘園遺跡や町内の達谷窟や無量光院跡を見学。参加者はガイドの解説を聞きながら散策し、身近にある文化遺産の成り立ちやその価値に理解を深めました。



町内2個人、2団体が表彰を受ける

防災意識、防災力の向上に尽力

地域の防災意識や防災力の向上に尽力したとして、町婦人消防協力隊のいずれも副隊長の千葉友子さんと稲葉靖子さん、13区自主防災会(千田幸男会長)と20区自主防災会(佐々木正会長)は、一関市消防本部から優良自主防災組織等表彰を受賞しました。

表彰式は2月17日、同本部で行われ、稲葉さんと千葉さん、両自主防の役員が出席。小山晃消防長から賞状と盾の贈呈を受けました。

「被災した皆さんに」

「20区民会」が能登半島地震へ義援金を寄託

第20行政区の自治会「20区民会」(会長・佐々木正区長)は3月4日、能登半島地震の被災地への義援金10,000円を、日本赤十字社町分区長の青木町長に寄託しました。

同日は佐々木区長が、役場で義援金を青木町長に手渡し「どこでどんな災害が起こるか分からない。被災した皆さんに役立ててほしい」と期待。青木町長は「しっかりと現地に届ける」と話しました。



被災して困っている人の助けに

平泉小学校が能登半島地震への義援金を寄託

平泉小学校の児童は2月20日、能登半島地震の被災地への義援金として、児童や保護者から寄せられた6万円余りを、日本赤十字社町分区長を務める青木町長に寄託しました。

役場を訪れたのは、児童会執行部の9人。児童会長の佐川遼貴さんと副会長の佐藤羽奏さん(ともに6年)が義援金の目録を青木町長に手渡し、佐川さんは「被災して困っている人々を助けてください」と話しました。



追悼の「3.11夢灯り」

震災から13年、すぎのこクラブの児童

平泉小学校区の放課後学童クラブ「すぎのこクラブ」は3月11日、東日本大震災の犠牲者をしのぶ「3.11追悼夢灯り」を学校校庭で行いました。

震災の教訓を伝えようと開催。クラブ児童約50人は、卒業生や保護者、地域住民が見守る中、災害を題材にした紙芝居のほか、手振りを交えて「花は咲く」などを合唱しました。鈴木晴空さん(2年)は「みんなに震災のことを伝えられたら」と思いを込めました。



石川県能登町に町職員を派遣

家屋などの公費解体申請の受付支援に従事

能登半島地震で被災した石川県能登町を支援するため、町は2月26日～3月4日の8日間、職員1人を派遣。職員は現地で被災した家屋などの公費解体申請の受付支援業務に従事しました。

派遣されたのは、保健センター主事の遠藤大樹さん(26)。遠藤さんは「東日本大震災時の支援への恩返し気持ちで臨む」として、本県や県内他自治体の派遣職員とともに現地入りし、業務に当たりました。



町が救急車を平泉分署に配備

車両の老朽化に伴い11年ぶりの更新

町は、一関西消防署平泉分署に配備している救急車の老朽化に伴って車両を更新し、引き渡し式を3月15日、町学習交流施設「エピカ」駐車場で行いました。

平成24年に分署へ配備した車両の老朽化に伴い町が更新したもので、式には町や消防署、町消防団から10人余りが出席。青木町長から鍵と車検証を受け取った同消防署の伊藤賢署長は「車両の特性や装備の熟知に努め、町民の負託に応える」と決意を示しました。



平泉中学校



【写真特集】慣れ親しんだ校舎、園舎に別れ告げる

町内の小中学校、幼稚園、保育所で卒業・卒園式



町内の小中学校や幼稚園、保育所で3月、卒業式や卒園式が行われ、卒業生と卒園児が慣れ親しんだ園舎や校舎に別れを告げました。17の20区にわたり、式の様子を紹介します。



来館者60万人を達成

平成21年開館の平泉文化遺産センター

平泉文化遺産センターは3月18日、来館者60万人を達成し、節目の来館者となった横浜市の江口純子さんと青木町長がくす玉を割って節目を祝いました。

江口さんは「東京国立博物館で中尊寺金色堂の展示を見て、平泉を訪れた。60万人おめでとうございます」と笑顔で話しました。

同センターは、平泉の文化遺産の魅力を紹介する施設として平成21年4月に開館しました。



イロハモミジを植樹

平泉スマートIC駐車場内

平泉スマートインターチェンジ（IC）駐車場で3月19日、イロハモミジの植樹が行われ、参加者が紅葉シーズンの色づきを待ち望みました。

県土木技術振興協会の公共施設環境整備支援事業により寄贈されたもので、高さ約5m、5本が一株になっています。10区の住民を中心とした参加者約20人が参加し、シンボルツリーに成長することを願いながら丁寧に土をかぶせました。



黄色い帽子とランドセルカバーを寄贈

町交通安全母の会連合会が新入学児童へ

町交通安全母の会連合会（小野寺祐子会長）は3月21日、黄色い帽子とランドセルカバー43人分を町教育委員会に贈りました。平泉、長島両小学校の入学式の日、新1年生全員に贈られます。

新入学児童の交通事故防止に役立ててもらいたいと、毎年継続している取り組み。同日は小野寺会長と内藤まき子副会長、高橋みよ子副会長が役場を訪れ、吉野教育長に帽子とカバーを手渡しました。





平泉小学校



長島保育所



長島小学校



町立幼稚園・平泉保育所



町営住宅の入居者を募集します

物件名	▷上野台団地…7戸 ①1号棟103 ②1号棟203 ③1号棟306 ④2号棟105 ⑤2号棟108 ⑥2号棟305 ⑦3号棟203 ▷高田前団地…3戸 ⑧9棟1号 ⑨9棟6号 ⑩20棟1号
間取り	① 2LDK(居間:6帖、和室2室:6帖) ②③ 3LDK(居間:6帖、和室1室:6帖、洋室2室:6帖) ④⑤ 2LDK(居間:6帖、和室2室:6帖) ⑥⑦ 3LDK(居間:6帖、和室1室:6帖、洋室2室:6帖) ⑧⑨⑩ 3K(1階和室1室:6帖、2階和室2室:7.5帖、8帖)
月額家賃	入居者の所得に応じて ① 20,100円~29,900円 ②③ 24,000円~35,800円 ④⑤ 20,200円~30,100円 ⑥ 24,100円~35,900円 ⑦ 24,200円~36,100円 ⑧⑨ 15,400円~22,900円 ⑩ 17,100円~25,500円
駐車場使用料	1カ月 1,500円/台 (1世帯2台まで)
募集期間	随時(空室がある場合) ※受付時間…平日8:30~17:15
入居資格	▷現に同居、または同居しようとする親族がいる人 ▷収入が定められた額を超えない人 ▷現在住宅に困っている人(住宅などの所有者は原則申し込みできません) ▷市町村民税などを滞納していない人 ▷暴力団員でない人
その他	▷申し込み、入居には連帯保証人(町内、奥州市、一関市の人)が2人必要です ▷先着順で受け付けます。入居者が決まり次第、受け付けを終了します ▷募集の状況は町ホームページにも掲載し、随時更新しています
問い合わせ先	建設水道課 ☎46-5569

運転免許証を自主返納した人への助成金事業を開始

町は、運転免許証を自主返納した高齢者の公共交通利用を支援するため、助成金事業を始めます。

■助成金額…1万円(1人1回)

■対象 4月1日(月)以降に運転免許証を自主返納した65歳以上の町民

■申請方法 必要事項を記入した申請書に、運転免許の取消通知書の写しを添え、町民福祉課に提出してください。申請書は町民福祉課で配布し

■問い合わせ先 町民福祉課 ☎46-5562

■その他 申請時に役場窓口に出向くのが難しい場合は、町民福祉課に相談してください。

■問い合わせ先 町民福祉課 ☎46-5562



平泉中学校



「黄金メロン」など道の駅平泉奨励品目を作ってみませんか?

町は、道の駅平泉の産直への出荷を応援するため、新しい品目の作物を出荷しようとする生産者に、苗代などの導入費用の補助を行っています。

町特産品の「黄金メロン」、道の駅で生産を奨励するアスパラガスやトウモロコシなどの出荷を特にも応援します。今季の作付けに挑戦してみませんか。

■対象者 新しい品目の作物を、道の駅平泉の産直で2年以上続けて出荷し、販売しようとする人

■対象の作物 対象者が、道の駅平泉の産直施設に出荷したことのない作物

■対象の経費 対象の作物を導入するための種や苗木、肥料、農薬、資材の購入費

4月からは新しい「医療費助成受給者証」を使いましょう

子どもを対象とした医療費助成受給者証(受給者証の番号が変わる人)、4月1日から使用できる新しい受給者証を郵送しました。4月になっても手元に届かない場合は、問い合わせてください。古い受給者証は使えなくなるため、注意してください。

■問い合わせ先 町民福祉課 ☎46-5562

（ビニールハウスの設置工事費も含む）

■補助金額

①黄金メロン 対象経費の5分の4(1件につき上限20万円)

②道の駅平泉奨励品目 対象経費の4分の3(1件につき上限15万円)

※令和6年度の奨励品目は▽アスパラガス▽トウモロコシ▽スイカ▽ラッカセイ▽サツマイモ▽ハウレンソウの6品目

③右記の①と②を除く品目 対象経費の2分の1(1件につき上限3万円)

■申し込み・問い合わせ先 農林振興課 ☎46-5564



長島小学校



平泉小学校

春の狂犬病予防注射の日程

	場所	時間
4月9日(火)	14区公民館	9:00~9:15
	長部地区交流センター	9:30~9:45
	小島神社鳥居付近	10:00~10:10
	20区コミュニティセンター	10:25~10:35
	旧小島小学校付近	10:50~11:00
4月10日(水)	長島体育館	11:15~11:30
	大佐公民館	9:00~9:15
	佐野公民館	9:30~9:40
	祇園公民館	9:50~10:00
	12区公民館 付近	10:15~10:25
	13区公民館	10:35~10:45
4月11日(木)	2区公民館	11:00~11:10
	瀬原屯所 付近	11:25~11:35
	3区 雷神社 付近	9:00~9:05
	戸河内コミュニティセンター	9:20~9:25
	3区 小野寺誠吉さま宅付近	9:40~9:45
	4区ふれあいセンター	10:10~10:20
	5区公民館	10:30~10:40
	6区河原橋付近	10:50~11:00
7区公民館	11:10~11:20	
町保健センター	11:35~11:50	

春の狂犬病予防注射を町内各地で行います

狂犬病予防注射は、年1回の接種が法律で義務付けられています。狂犬病は海外で流行している病気で、国内での流行を防ぐため、協力をお願いします。

- 接種対象 生後91日以上の全ての犬
- 費用：3300円
- 注意事項
 - ▽注射時は、保健センターから送付されるはがきと注射料金を持参してください。
- 問い合わせ先 保健センター ☎46-5571

▽期間中に注射を受けられない場合は、動物病院で接種を受けてください。

■その他 地区の指定はありませんので、都合の付く場所へ注射してください。

注射会場で犬の登録も受け付けます。登録料は3000円(注射料金と別途)です。

町民農園の利用者を募集します

- 町民農園の利用希望者は、建設水道課に申し込んでください。
- 募集区画：10区画
- 場所 平泉地区水辺プラザ内
- 区画面積：約300平方メートル
- 利用期間：1年間(更新可能)
- 利用条件
 - ①町民農園利用者会(年会費1000円)に入会し、高館橋下流側水辺プラザの環境管理(除草、水害後のごみ撤去など)を実施する
 - ②町内の個人か団体
- ③農作物は自家で消費するか、道の駅平泉へ出荷する
- 申込方法 建設水道課内に備え付けの町民農園利用許可申請書に必要事項を記入し、提出してください。
- 申し込みが多数の場合は、抽選で利用者を決定します。
- 申込期限：4月30日(火)
- その他 畑地への給水や農機具格納などの施設は設置できません。
- 問い合わせ先 建設水道課 ☎46-5569

景観条例について

平泉の自然と歴史が調和した文化的景観を保全するため、町は町内全域を対象に景観条例を制定しています。

建築物や工作物の新築、増築、修繕のほか、屋根や外壁の塗装などの模様替え、木の伐採や物の集積、土地の区画形質の変更などの場合も申請や届け出が必要です。自身が施工する場合も申請や届け出が必要です。詳しくは問い合わせください。

- 問い合わせ先 建設水道課 ☎46-5569

駅前駐輪場の放置自転車を撤去します

JR平泉駅前の駐輪場(南側)に長期間放置されている自転車を、4月中旬から順次撤去します。対象の自転車には、撤去する旨の告知文書を取り付けています。

- 問い合わせ先 総務課 ☎46-5540

発掘調査に協力を

町内には、数多くの貴重な遺跡があります。住宅などの建設や切り土盛り土の工事により、埋蔵文化財が失われたり、地形が変わってしまったり、文化財保護の観点から事前に発掘調査が必要で、事業を円滑に進めるため、町民皆さんの協力をお願いします。

- 実施期間 発掘調査(野外調査)は、毎年4月から11月ごろまで実施しています。
- 発掘調査の経費 個人宅などを建築する場合、国庫補助制度を活用するため個人負担はありません。店舗などを建設する場合は、文化財保護法に基づき、開発事業者の負担となります。
- 受付期間(開発事業の協議) 令和7年度の発掘調査の協議、受け付けを行っています。住宅建築などの計画がある場合は、12月上旬までに問い合わせください。8年度以降についても、随時受け付けています。
- 発掘調査後の引き渡し 発掘調査後の埋め戻しは、地盤調査の結果に影響を与えないよう、業者や施主と材料や方法について協議して実施しています。
- 問い合わせ先 平泉文化遺産センター ☎46-4012

風しん抗体検査・予防接種の実施期限は令和6年度末まで

昭和37〜53年度生まれの男性は、過去に公的に予防接種が行われていなかったため、風しんにかかる可能性が高く、家族や周囲の人たちに広げてしまう恐れがあります。

自分と周囲の人を守るため、クーポン券を使用し抗体検査(血液検査)を受けましょう。抗体検査は、町の特定健診や職場の定期健診と併せて受けることができます。

対象者は、昨年6月頃にクーポン券を送付済みです。紛失した場合は、再交付しますので、問い合わせください。

- 問い合わせ先 保健センター ☎46-5571


4月17日は、悠久の湯平泉温泉を臨時休館します

悠久の湯平泉温泉は、メンテナンス作業のため、4月17日(水)を臨時休館とします。16日(火)は、通常の休館日です。

- 問い合わせ先 町民福祉課 ☎46-5562
- 悠久の湯平泉温泉 ☎34-1300

4月21日は、一斉清掃の日です

公衆衛生の向上を図り、清潔で住みよい町にしましょう。

- 実施日時、場所 基準日は4月21日(日)ですが、町民福祉課 ☎46-5562
- 問い合わせ先 地区ごとに日時や場所が異なります。

国民健康保険の届け出を忘れずに

退職や就職、転入、転出したときは、国民健康保険(国保)の手続きが必要な場合があります。

届け出をしないと、国保と新たに加入した健康保険の両方へ保険料を納めしてしまう恐れがあります。国保の資格がない状態で国保の保険証を使用して医療機関などを受診した場合は、町に医療費を返納する手続きが必要になる可能性があります。速やかに手続きをしてください。

各種手続きの際は、マイナンバーが分かる物(マイナンバーカードや通知カード)、本人確認書類(運転免許証など)を町民福祉課窓口を持参してください。

その他	やめる	加入	届け出
就学で町外に住所を定めた	国民健康保険の加入者が亡くなった	職場の健康保険をやめた	手続きに必要なもの
▽保険証	▽喪主の通帳	職場の健康保険に加入した	▽職場の健康保険をやめた証明書
▽本人確認書類	▽保険証	国保の保険証に新しい職場の保険証	
▽在学証明書	▽町外に転出した		

令和6年度 職員体制



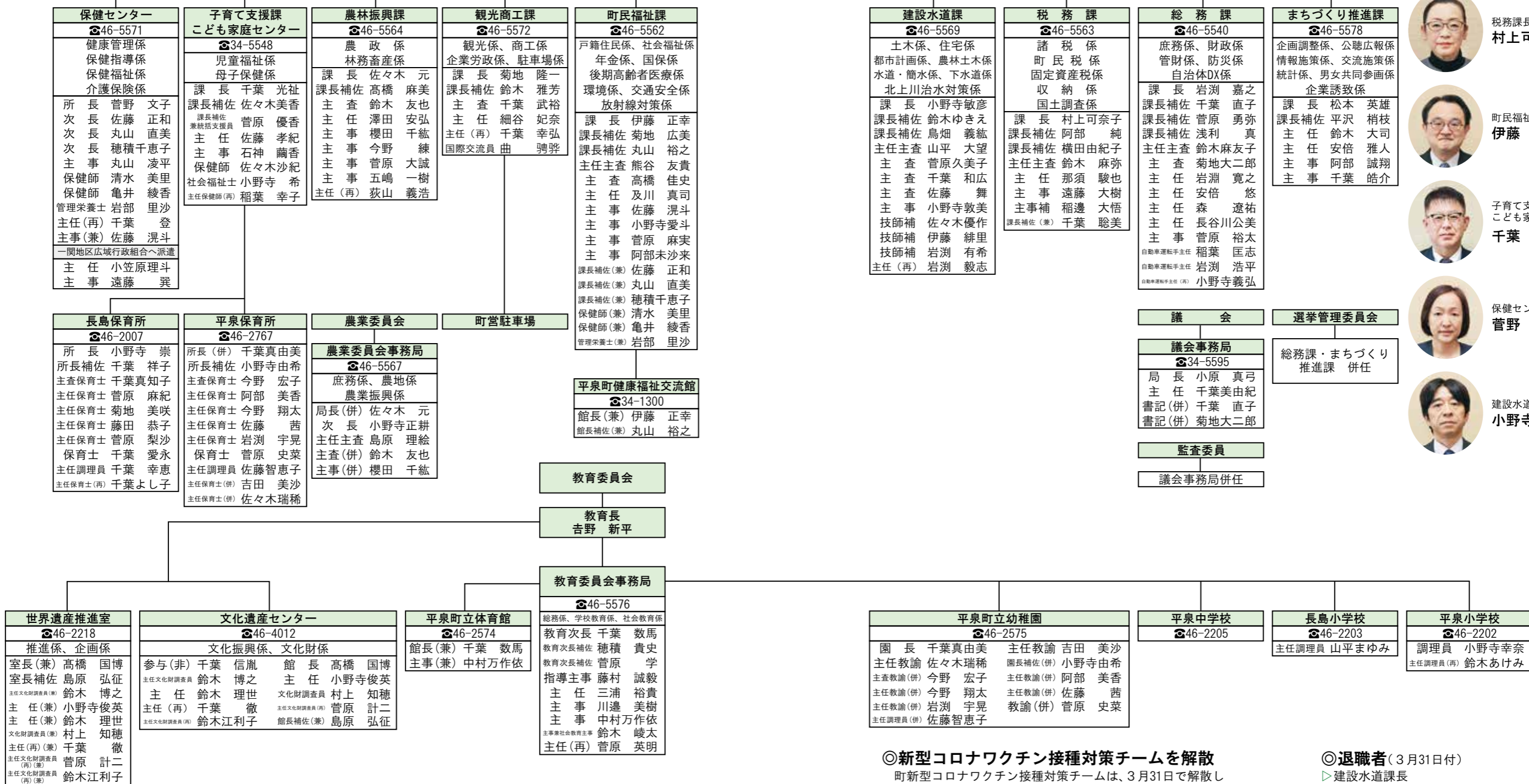
町職員の人事異動を4月1日付で発令しました。
新体制となった職員配置は次の通りです。

※(兼)は兼務、(併)は併任、(再)は再任用、(非)は非常勤特別職を指します。
※小中学校は、町職員のみ掲載しています。

◎令和6年度組織改編

▶子育て支援課を4月1日付けで新設し、町民福祉課と保健センターの一部業務を移管します。子育て支援課内に、こども家庭センターを設置します。

◎課長級の異動



◎新型コロナワクチン接種対策チームを解散

町新型コロナワクチン接種対策チームは、3月31日で解散しました。今後、新型コロナワクチン接種に関しては、保健センター(☎46-5571)にお問い合わせください。

◎退職者(3月31日付)

- ▶建設水道課長
- ▶教育委員会事務局教育次長補佐
- ▶建設水道課主任(再任用)

岩淵 省一
菅原 正宏
千葉 幸一

健康♥ホットライン

保健センター ☎46-5571 e-mail:hoken@town.hiraizumi.iwate.jp

始めよう、元気なうちから介護予防

住み慣れた地域でいつまでも生き生きと暮らすため、町は「介護予防・フレイル予防で健康寿命の延伸」を目標とし、元気なうちから自主的な介護予防への取り組みを推進していきます。

なぜ介護予防が必要か

介護なしで自立した生活を送れる期間を「健康寿命」といいます。平均寿命と健康寿命の差が、介護を必要とする不健康期間となります。いくつになっても生きがいを持ち、自分らしく生活するためには健康寿命をいかに伸ばすかが課題であり、元気なうちから介護予防に取り組むことが重要です。

要介護状態の原因

町における介護の認定者の割合は19.9%（令和6年2月時点）で、町民の約5人に1人が介護認定を受けている状況にあります。

介護が必要となる主な原因は、脳卒中、認知症、運動器の障

害（骨折・転倒、関節疾患）といわれ、メタボリック症候群に関係がある心臓病や糖尿病などにも注意が必要です。

介護予防で健康な毎日を

介護予防・フレイル予防の柱は「栄養・口腔」「身体活動（運動）」「社会参加」です。予防のポイントは次の通りです。

■栄養

1日3食、バランスの良い食事を心がけましょう。

筋力維持のために、筋肉を作るたんばく質を積極的に取りましょう。

■口腔（口の働き）

口の体操など、かむ力・飲み込む力を鍛えましょう。

むし歯、歯周病を予防し、口の中を清潔に保ちましょう。

かかりつけ歯科医を持ち、定期的に健診を受けましょう。

■身体活動（運動）

体力維持のために、小まめに体を動かしましょう。

転倒予防のために筋力維持

に努め、体操・ストレッチをしましょう。

■社会参加

通いの場など、週1回以上は参加しましょう。

認知機能低下の予防のため、人との交流や趣味の活動などを継続しましょう。

■定期的な健診

要介護の原因となる生活習慣病の早期発見や重症化予防のためには、健診の受診が大切です。年に1回は健診を受けましょう。

自ら取り組む介護予防

町保健センターは、自ら取り組む介護予防を応援するため、さまざまな教室を実施します。積極的に参加しましょう。



「コッ骨貯筋教室」

筋力運動を中心に、体力・筋力の維持を目指します。

「かみかみ百歳体操」

「さくらんぼの会」

高齢者対象の茶話会です。

「じいちゃん倶楽部」

男性を対象に調理実習、レクリエーション活動を行います。



「いきいき百歳体操」



町の健康診査で「むし歯のない3歳児」として表彰されたお子さんを紹介いたします。保護者から、むし歯ゼロへの取り組みなどを聞きました。

夜の仕上げ磨きをしっかり行い、食後はお茶を飲んでいます。



稲井 一夏 さん

夜の仕上げ磨きの後に水を飲んでいます。



浅野 結月 さん

子育ての広場

Family Corner

子育て支援センターで開催されている各活動や子育てに役立つ情報をお届けします。

町子育て支援センター

活動を紹介します

今回は、町子育て支援センターの活動を紹介します。

■みんなの広場

食生活や排せつ、睡眠などの生活に関する相談やお子さんの年齢に合わせた遊びを行います。親子やスタッフとの関わりの中で子育ての情報や悩みを共有し、理解を深める場にもなっています。



4月の予定

■給食試食会
保育所の給食を体験できます。お子さんの年齢に合った食事の内容、調理方法を参考にしてください。

◎「みんなであそぼう」

▽日時：4月18日（木）

午前10～11時

▽場所：平泉保育所

▽持ち物

水筒（お茶か水）、各自

必要な物

▽対象：1歳～在宅児

▽申込期限：4月17日（水）

◎給食試食会

▽日時：4月18日（木）

午前11時30分～午後1時

▽定員：2組

▽申込期限：4月16日（火）

◎園開放

▽子育て支援センター

平日午前9時～午後4時

▽長島保育所（園庭）

毎週水曜日

午前9時30分～11時

■問い合わせ先

子育て支援センター（平泉

保育所内） ☎46-2767

一関保健所からのお知らせ ■申し込み・問い合わせ先…一関保健所保健課 ☎26-1415

こころの健康相談（事前予約必要）

専門医師が無料で、こころの健康相談に対応します。

■日時…①4月11日（木） 13:30～15:30
②5月9日（木） 13:30～15:30

■場所…①一関保健所
②一関地区合同庁舎千厩分庁舎

骨髄バンクドナー登録、血液検査（事前予約必要）

■日時…4月10日（水）
※骨髄バンクドナー登録 9:00～10:00
※血液検査（HIVなど） 10:00～11:30

■場所…一関保健所
■血液検査の種類…▷HIV抗体検査
▷梅毒抗体検査
▷肝炎ウイルス検査
▷クラミジア病原体検査（※尿検査）

■検査料金…無料



モルックの用具を貸し出します

用具を貸し出します
「モルック」しませんか？
 町教育委員会が出前スポーツ教室や貸し出し用として使うスポーツ用具に、「モルック」が加わりました。
 モルックは、運動が苦手な人や体力に自信のない人、子どもからお年寄りまで幅広い年代が楽しめるニュースポーツ。木の棒（モルック）を、数字が書かれた木製のピン（スキットル）に目がけて投げ、スキットルの倒れた本数や描かれた数字によって点を取るゲームです。
 競技の指導や用具の貸し出しを希望する場合は、気軽に申し込みください。

平泉小学校 ☎46-2202

感謝、成長、希望 ～卒業式～

卒業式を3月16日、行いました。多くの来賓に出席いただき、38人の卒業生に、これまでの6年間で積み重ねてきた多くの学びを生かし、さらなる活躍を期待する祝辞をいただきました。
 校長先生が一人ひとりの氏名を思いを込めて読み上げ、卒業生は小学校6年間の思い出をかみしめながら、やや緊張した面持ちで丁寧に卒業証書を受け取りました。
 卒業生は「旅立ちの言葉」を通して、小学校での思い出や感謝、願い、進学への決意などを声高らかに伝えました。美しいハーモニイで思いを歌詞に乗せて合唱し、いよいよ卒業という気持ちを高めました。
 在校生代表として参加した5年生は卒業生への感謝を伝え、誇り高き平泉小学校の伝統や卒業生の思いを引き継いでいく決意を示しました。
 保護者をはじめ、地域の皆さんにも支えられ成長した卒業生。中学校という新たなステージに向かい、一層頑張ろうとする姿を見せた式となりました。



卒業証書を受け取る6年生

長島小学校 ☎46-2203

ありがとうございました 強くかたく美しく

令和5年度卒業式を3月19日に挙行了しました。来賓や保護者、4・5年生、教職員が見守る中、6年生13人が長島小を巣立ちました。担任の呼名にしっかりと応え、校長先生から卒業証書を受け取る卒業生のりんとした姿は、小学校最後の授業にふさわしく、保護者の感激もひとしおであったと思います。
 5年度を振り返ると、合奏団による春の藤原まつりパレードの参加、運動会、吹奏楽祭、学習発表会、さらに長島少年消防クラブの活動や地域の行事への参加など、たくさんの行事を予定通り行うことができました。
 どの活動をとっても、保護者はもちろん、合奏団による春の藤原まつりパレードの参加、運動会、吹奏楽祭、学習発表会、さらに長島少年消防クラブの活動や地域の行事への参加など、たくさんの行事を予定通り行うことができました。



学びやに別れを告げた卒業生13人

平泉中学校 ☎46-2205

祝 57人が卒業

令和5年度第48回卒業式を3月13日に行い、57人が学びやを巣立ちました。
 在校生は別れを惜しみながら、式前日に感謝の気持ちを込めて3年生の教室に装飾をしました。
 卒業生はさまざまな行事を通じ、下級生に音楽の楽しさ、素晴らしいさを伝えてくれました。本校の合唱文化は、各学年の特色がありながらも、代々音楽の素晴らしさを引き継いでいます。最後の発表の場が卒業式で、下級生がそれを引き継ぐ場となっています。
 式での卒業生による呼びかけ「旅立ちの時」では、在校生との思い出や保護者への感謝の気持ち、地域の皆さんにお世話になった感謝の言葉と合唱が届けられました。合唱曲『YELL』の歌詞に乗せ、新たな進路へ進む一人ひとりの不安と飛び立っていく自立の心を歌い上げました。
 地域の皆さんや保護者から愛情をいっぱい受けて育った生徒たちは、一度平泉から外の世界へ飛び立ちますが、大きくなってまた戻ってきてくれることを願っています。



卒業生による呼びかけ「旅立ちの時」

《町スポーツ協会より》

総合型クラブひらさぼ

誰もが、いつでも、どこでも、いつでもスポーツに親しむことができる総合型地域スポーツクラブとして、ひらさぼは3年目を迎えました。本年度も、広報紙やホームページ、交流サイト(SNS)などで活動日程をお知らせします。

令和6年度の会員を募集！

- 年会費
 - ▽中学生以下…2000円
 - ▽高校生以上…3000円
- 年会費に保険料が含まれます。協会の活動に会員価格で参加できます。

「フィットネス教室」(月2回)

健康維持・増進を目的とした運動(エアロビクス・ヨガ・筋トレ・ストレッチなど)を行います。
 ■日時…4月7日(日)、28日(日) 午前10～11時

「場所」町学習交流施設「エピカ」

- 費用…会員500円 非会員1000円



「健活(ケンカツ)教室」(月2回)

ニュースポーツなどを楽しみながら、心身の健康づくりに向けて活動しましょう。
 ■日時…4月11日(木)、25日(木) 午前10～11時

「場所」町学習交流施設「エピカ」

- 費用…会員100円、非会員300円

「レッツエンジョイスports」(月2回)

卓球、バレーボール、バドミントン、サッカー、バスケットボールのほか、ニュースポーツ各種を準備しています。
 ■日時…4月7日(日)、21日(日) 午後1～3時

「場所」平泉中学校体育館、柔剣道場

- 費用…会員100円、非会員300円

「ホップステップクラブ」(月3回)

3歳から小学生までが対象で、いろいろな運動・遊びを経験できます。日程は、予定表を確認してください。

「ひらさぼウォーキング」(年5回)

- 2時間弱のウォーキングで、地元の良いところを発見しませんか。
 ■日時…4月14日(日) 午前9時30分～11時30分

スポ少団員を募集！

- ▽野球▽卓球▽剣道▽空手道▽ミニバスケットボール▽サッカー▽バレーボール▽ソフトテニス
- の8競技のスポーツ少年団が団員を募集しています。
- 年会費(2000円)にスポーツ安全保険料、登録料が含まれます。協会の活動に会員価格で参加できます。

申し込み・問い合わせ先

町スポーツ協会 ☎46-5576
 E-mail: hira-taikyo@town.hirainzumi.iwate.jp
 hira-taikyo@town.hirainzumi.iwate.jp
 町スポーツ協会のホームページからも申し込みができます。

グラウンドゴルフをしませんか

町グラウンドゴルフ協会は、会員を募集しています。日頃の運動不足解消と心のリフレッシュのため、一緒にプレーしませんか。
 ■活動期間…4～11月(月2回程度)
 ■活動場所…平泉文化遺産センター
 ■年会費…2000円
 ■問い合わせ先
 町グラウンドゴルフ協会事務局 (担当:小野寺) ☎46-2354



エピカだより

学習交流施設 ～町の活力を生み育てるにぎわい交流拠点～

エピカ ☎34-6656



←ホームページから「蔵書検索」や「貸し出し予約」ができます。

教育委員会 ☎46-5576

◆今後の予定

「ピアノ開放日」

「エピカ」のグランドピアノを下記の日時に開放します。希望時間を指定し、電話または窓口に直接申し込みください。

- ▷日程…4月13日(土)
- ▷時間…①13:00～13:50
②14:00～14:50
③15:00～15:50
④16:00～16:50
⑤17:00～17:50

- ▷場所…「エピカ」多目的ホール
- ▷対象…町民と町内在勤者
- ▷費用…無料
- ▷定員…先着各1組
- ▷申込受付
4月1日(月) 9:00～

「ママズクラブ」(第1回)

ママズクラブは毎月1回計12回開催します。

内容は、「親子funfun運動教室」(8回)と「親子で楽しむヨガ教室」(4回)です。親子で笑顔になれるひとときを過ごしませんか。

- ▷日程…4月20日(土)
- ▷時間…10:30～11:10
- ▷場所…「エピカ」多目的ホール
- ▷対象

1～3歳の幼児とその保護者(兄弟、姉妹の参加も歓迎します。町内外問わず参加できます)

- ▷内容
「親子funfun運動教室①」
- ▷費用…無料
- ▷定員…6組程度
- ▷その他
当日の申し込みも可能です。



「ウォーキング教室」(第2回)

三陸自動車道かなえ大橋を見上げる展望スポットをスタートし、NHK朝ドラの舞台にもなった気仙沼大島を目指します。

- ▷日程…5月16日(木)
- ▷時間…8:40～16:30
- ▷場所…気仙沼大島(宮城県気仙沼市)
- ▷内容…蜂ヶ崎～野杜海(約5.2キロ)
- ▷対象…町民と町内在勤者
- ▷定員…18人(申込者多数の場合抽選)
- ▷申込期限…4月15日(月)

「登山教室」(第1回)

焼石連峰や栗駒山、東稻山など、県南の美しい風景を眺めながら、トレッキングを楽しみませんか。

- ▷日程…5月19日(日)
- ▷時間…9:00～16:00
- ▷場所…国見山(北上市)
- ▷対象…町民と町内在勤者
- ▷費用…200円
- ▷定員…18人(申込者多数の場合抽選)
- ▷申込期限…4月28日(日)

◆令和6年度公民館事業

■町民講座

- ▷ウォーキング教室【4～11月】
自然に親しみながら、体力増進を図ります。
- ▷登山教室【5～9月】
初心者から中級者向けの教室です。
- ▷パークゴルフ教室【5～10月】
ラウンドしながらルールやマナーを学びます。
- ▷ガーデニング教室【5～12月】
寄せ植えなどを行います。
- ▷みんなの料理教室【6～11月】
さまざまなジャンルの料理を学びます。

▷大人のスマホ教室【6～2月】
操作の基本を学びます。

▷マーブルアート教室【9～10月】
ビー玉とワイヤーを使ったクラフトを作ります。

▷ミニ盆栽教室【10月】
手乗りサイズの盆栽を作ります。

▷一閑張り教室【6～8月】
日本の伝統工芸品、一閑張り作りを体験します。

▷和の小物作り教室【9～10月】
水引きやちりめんを使った小物を作ります。

▷歴史教室【12～2月】
平泉の歴史や文化を学びます。

▷謡曲教室【1月】
喜多流小謡を学びます。

■青少年教育

▷パソコンキッズスクール【7月】
パソコンの基本知識や情報モラルを学びます。

▷(新)習字体験教室【7～8月】
筆に親しむ初心者向けの教室です。

▷親子外国語教室【9月】
親子で楽しく外国語に親しむ教室です。

▷かるた教室・大会【1～2月】
百人一首を通して集中力を養います。

▷少年少女将棋教室【3月】
打ち方や考える力を養います。

◆本年度の施設イベント

本年度は下記のイベントの開催を予定しています。開催日時や内容は、町広報やチラシなどでお知らせします。

- ▷陶芸体験
- ▷アート教室
- ▷ピアノ開放日
- ▷あそびばエピカ
- ▷夏休み納涼おはなし会
- ▷クリスマスイベント
- ▷Happyday in epica—など

★新着図書の紹介★



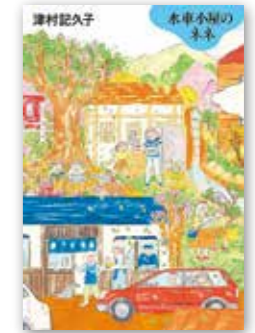
「放課後ミステリクラブ1」
知念 実希人/ライツ社



「がん経験者のリアルな生活」
岸田 徹/翔泳社



「ジブリの立体建造物展図録(復刻版)」
スタジオジブリ/TWO VIRGINS



「水車小屋のネネ」
津村 記久子/毎日新聞出版

★4月企画展「春に読みたいおすすめ100冊」★



「とかげくんのしっぽ」
ツク之助/イースト・プレス



「図解土づくりタネまき植えつけ」
ワン・パブリッシング



「日本の美しい里と花の絶景」
富田 文雄/パイインターナショナル



「満天の花」
佐川 光晴/左右社

★4月の「おはなし会」★

町立図書館の職員が、お薦めしたいとおきの絵本を読み聞かせしたり、手遊びを行ったりします。親子でお越しくください。

- ▷日程…4月20日(土) 11:00～11:45
- ▷場所…「エピカ」おはなし室
- ▷出演…町立図書館職員



★蔵書点検ロボット、5月にお目見え★

図書館の蔵書点検などを行うロボットが、5月から稼働します。ロボットは蔵書点検のほか、普段は施設入口で来館者の出迎えや、施設の音声案内をする予定です。ぜひ会いにいらしてください。

4月26日(金)には、ロボットの愛称のお披露目会を開きます。お楽しみに!



◇ご寄贈ありがとうございました◇

- ・埼玉県立近代美術館 さま(埼玉県)
『日本古寺美術全集第16巻 中尊寺とみちのくの古寺』 集英社//刊
- ・伊藤 信幸 さま(平泉町) 『蝦夷水沫 阿豆流為の叫び(上・下)』 千尼田//著 ほか
- ・伊藤 英伸 さま(一関市) 『フォト短歌エッセー集 千年目の光』 菅藤 誠//著

戸籍の窓

(2.21~3.20届出分)

◆人口の動き 3月1日現在

男	3,307(-4人)	転入	4(2月中)
女	3,515(-11人)	転出	12(2月中)
人口	6,822(-15人)	出生	2(2月中)
世帯	2,601(-5世帯)	死亡	9(2月中)

※()内は前月からの増減

ご寄付ありがとうございました

●町へ
千葉キンさま(東郷)
……『戸河内郷土誌』ほか古文書資料 11点
《ふるさと応援寄附基金》
匿名の方から(15人) ……………971,000円

健康・医療

4月の労働者の健康相談日

一関地域産業保健センターでは、50人未満の小規模事業所の事業主や労働者を対象に、産業医が健康相談に応じます。

日程	時間	相談場所
4日(木)		一関商工会議所千厩支所
11日(木)	13:00	一関市医師会事務所 (一関市大手町3-40岩手日報ビル5階)
18日(木)	15:00	
25日(木)		

問い合わせ先
一関地域産業保健センター ☎23-5110 ㊟23-9955

4月の夜間救急当番医

日程	地区	医療機関	電話番号
1日(月)	西	阿部内科クリニック	☎23-2918
	東	室根診療所(室根町)	☎64-2127
2日(火)	西	一関中央クリニック	☎21-1222
	東	菅野内科医院(大東町)	☎75-2772
3日(水)	西	及川内科胃腸科クリニック	☎31-3131
	東	かわさきファミリークリニック(川崎町)	☎43-3770
4日(木)	西	いとう脳神経内科	☎21-8200
	東	県立千厩病院(千厩町)	☎53-2101
5日(金)	西	小野寺内科循環器科	☎23-5600
	東	もりあい内科クリニック(千厩町)	☎51-3322
8日(月)	西	かとうこどもクリニック	☎33-2211
	東	千厩ひかりクリニック(千厩町)	☎51-1156
9日(火)	西	桂島医院	☎21-8883
	東	県立大東病院(大東町)	☎72-2121
10日(水)	西	佐藤循環器内科医院	☎23-9678
	東	菊池内科医院(大東町)	☎74-2512
11日(木)	西	千和クリニック	☎34-8811
	東	県立千厩病院(千厩町)	☎53-2101
12日(金)	西	木村消化器内科	☎21-1311
	東	たかがね内科泌尿器科クリニック(千厩町)	☎51-1377
15日(月)	西	西城医院(舞川)	☎28-2393
	東	谷藤内科医院(千厩町)	☎51-3355
16日(火)	西	寺崎内科胃腸科医院	☎23-6211
	東	猿沢診療所(大東町)	☎76-2020
17日(水)	西	岩手クリニック一関	☎21-5111
	東	かわさきファミリークリニック(川崎町)	☎43-3770
18日(木)	西	アビエスカんのクリニック	☎34-8300
	東	県立千厩病院(千厩町)	☎53-2101
19日(金)	西	誠信堂医院(花泉町)	☎82-3434
	東	吉田内科循環器科医院(大東町)	☎71-2131
22日(月)	西	中野内科循環器科クリニック	☎33-2311
	東	菜の花クリニック千厩(千厩町)	☎34-7787
23日(火)	西	蓬田内科医院(花泉町)	☎36-3336
	東	県立大東病院(大東町)	☎72-2121
24日(水)	西	菅原内科循環器科医院(花泉町)	☎82-5528
	東	阿部医院(東山町)	☎47-3898
25日(木)	西	千葉内科医院	☎25-3211
	東	県立千厩病院(千厩町)	☎53-2101
26日(金)	西	ひらいずみ内科クリニック	☎34-1133
	東	菅野内科医院(大東町)	☎75-2772
30日(火)	西	阿部内科クリニック	☎23-2918
	東	たかがね内科泌尿器科クリニック(千厩町)	☎51-1377

診療時間…18:00~20:00
※当番医は変更になる場合があります。あらかじめ、当番医や一関西消防署(☎25-0119)に確認してください。

4月の休日当番医

日程	西地区		東地区
	内科	外科	
7日(日)	ひらいずみ内科クリニック ☎34-1133	菊池耳鼻咽喉科皮膚科 ☎26-2230	阿部医院(東山町) ☎47-3898
14日(日)	菊池内科医院 ☎23-7100	かげやまクリニック ☎26-1026	菊池内科医院(大東町) ☎74-2512
21日(日)	佐藤循環器内科医院 ☎23-9678	こいわ耳鼻咽喉科・アレルギー科クリニック ☎33-2117	猿沢診療所(大東町) ☎76-2020
28日(日)	誠信堂医院(花泉町) ☎82-3434	千和クリニック ☎34-8811	谷藤内科医院(千厩町) ☎51-3355
29日(月)	寺崎内科胃腸科医院 ☎23-6211	菅原整形外科クリニック ☎23-0501	菜の花クリニック千厩(千厩町) ☎34-7787

診療時間…9:00~17:00
※当番医は変更になる場合があります。あらかじめ、当番医や一関西消防署(☎25-0119)に確認してください。

相談・説明会

無料法律相談

4月の日程	担当弁護士	予約開始	5月の日程	担当弁護士	予約開始
4日(木)	北村 宏洋	3/29(金)	2日(木)	小原 恒之	4/26(金)
11日(木)	蜂谷 大		9日(木)	北村 宏洋	
18日(木)	吉田 俊晴		16日(木)	蜂谷 大	
25日(木)	赤津 聡	23日(木)	吉田 俊晴		
			30日(木)	赤津 聡	

時間…10:00~15:00 場所…一関市役所本庁
予約・問い合わせ先
一関市役所生活環境課 ☎21-2111

お知らせ

令和6年分所得税の定額減税説明会

一関税務署は、源泉徴収義務者を対象に令和6年分所得税の定額減税説明会を開催します。
日時…4月23日(火)、24日(水) 14:00~15:30
場所…町学習交流施設「エピカ」

申込方法
説明会は各回とも、LINEによる事前予約制です。申込方法は、国税庁ホームページを確認してください。

定額減税に関する問い合わせ先
一関税務署 法人課税部門 ☎23-4236

いちサポ 就職準備リフレーミングセミナー

自分の見方を変えて「自分の良さ」を知るワークを行います。
日時…4月11日(木) 13:30~15:30
場所…なのはなプラザ4階(一関市大町4-29)
対象…49歳までの求職者、通信制・定時制生徒
定員…6人
費用…無料
申込締切…4月10日(水)
申し込み・問い合わせ先
いちのせき若者サポートステーション ☎48-4467

金色堂建立 900年関連事業「清衡の平泉」

初代藤原清衡の発願によって中尊寺に奉納された紺紙金銀字交書一切経。その中の一巻が伊豆山神社(静岡県熱海市)に伝わっています。このお経を平泉に数百年振りに初めて里帰りさせ、その全容を公開します。関連遺物も同時に展示します。
日程…4月13日(土)~8月25日(日)
時間…9:00~17:00
場所…県立平泉世界遺産ガイダンスセンター
費用…入館料310円(学生140円、高校生以下無料)
問い合わせ先
県立平泉世界遺産ガイダンスセンター ☎34-7377

講座「経蔵別当補任状と骨寺村」

県立平泉世界遺産ガイダンスセンターは、令和6年度第1回講座「経蔵別当補任状と骨寺村」を開催します。
日時…4月21日(日) 10:00~11:30
場所…県立平泉世界遺産ガイダンスセンター
講師…堀裕さん(東北大学大学院教授)
費用…無料。展示を見る場合は入館料が必要です。
その他…申し込みは不要です。
問い合わせ先
県立平泉世界遺産ガイダンスセンター ☎34-7377

「土砂災害が発生するおそれのある箇所」の確認を

県は、「いわてデジタルマップ」で、土砂災害の発生する恐れがある箇所を公開しています。高精度な地形情報を用いて、がけ、沢などの土砂災害の危険性のある箇所を抽出したものです。住んでいる地域が、土砂災害の危険な場所か確認しましょう。
日頃から土砂災害の危険な場所を確認し、大雨時の避難に役立ててください。
いわてデジタルマップ(土砂災害に関する規制図)
新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」のほか、土砂災害警戒区域も確認できます。
県砂防災害課のホームページ
新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」の公表に関する概要や市町村別の箇所数などを確認できます。

いわてデジタルマップはこちら→
県砂防災害課のホームページはこちら→
問い合わせ先…総務課 ☎46-5540

町広報紙に掲載する有料広告を募集

規格…①区画A…縦約4.5㍎×横約8.8㍎
②区画B…縦約4.5㍎×横約17.9㍎
掲載料…①1回当たり1万円
②1回当たり2万円
掲載期間…各号1回(複数回の掲載も可)
申し込み・問い合わせ先…まちづくり推進課 ☎46-5578

April Calendar
4月のカレンダー

日	曜	主な行事	時間	場所
1	月			
2	火			
3	水			
4	木			
5	金	狂犬病予防注射 町立幼稚園・平泉保育所入園式 さくらの会	9:00~11:55 10:00~ 10:00~11:00	町内 町立幼稚園ホール 学習交流施設「エビカ」
6	土	平泉小学校入学式 長島小学校入学式 長島保育所入所式 平泉中学校入学式	9:40~ 10:00~ 10:00~ 14:00~	平泉小学校体育館 長島小学校体育館 長島保育所ホール 平泉中学校体育館
7	日			
8	月			
9	火	狂犬病予防注射 ふれあい会	9:00~11:30 10:00~11:30	町内 保健センター
10	水	狂犬病予防注射 9カ月児相談・ピヨピヨ広場	9:00~11:35 9:30~11:00	町内 学習交流施設「エビカ」
11	木	狂犬病予防注射 ほほえみカフェ平泉	9:00~11:50 13:30~15:00	町内 学習交流施設「エビカ」
12	金			
13	土			
14	日			
15	月			
16	火	さくらの会	10:00~11:00	町公民館長島分館
17	水			
18	木	幼児健診	12:50~	保健センター
19	金	町議会定例会(予定)	10:00~	議場
20	土	西行桜の森まつり	13:30~14:30	木工芸館「遊鷹」付近
21	日			
22	月			
23	火			
24	水			
25	木	ニギニギ広場	13:30~15:00	学習交流施設「エビカ」
26	金			
27	土			
28	日			
29	月			
30	火			

町社会福祉協議会の「ふくし相談」「障がい者相談」などの日程は、町社協(☎46-5658)に確認してください。

文芸

短歌

平泉短歌会

早咲きも暖冬ニユースも雨水の後は寒波や大雪おかしな季候
背伸びして届かぬ先に大粒のキウイは実る裸木に縫り
杉木立を昇る朝日が見え隠れ立春過ぎての春の階

東風 千田 恵
晴山 京子

(五十音順)

俳句

東稲吟社

大地割り我一番とふきのとう
牧場の牛かけだして風光る
春の田に堆肥の小山並びをり

岩淵 洋子 先生選

十三区
六区
九区

昆野 啓輝
阿部 義美
岩淵 眞理子

4月の納期

▽固定資産税(第1期)
◎納期限: 4月30日(火)

編集後記

昨年4月号の本欄で、役場前の桜の開花をお伝えしました。今年が、春はもうすぐ。新しい広報用カメラで、町内のさまざまな風景を撮りたいです。(阿部誠翔)

【おこわり】本文中に出てくる児童生徒の学年は、令和5年度時点のもの。


道の駅平泉 知っ得情報

黄金花咲く理想郷 道の駅平泉 ☎48-4795

収穫したてのイチゴを出荷 石川智之さん(10区)

産直コーナーに並ぶ色鮮やかなイチゴ。売り場に甘い香りが漂います。出荷するのは、長島地区出身で5年前に関東からUターンした石川智之さん。甘みの強い「紅ほっぺ」、酸味と甘みのバランスが特徴の「よつぼし」など5品種を栽培し「いっぽのイチゴ」として販売しています。直売の強みを生かし、ぎりぎりまで熟成させたイチゴを収穫当日に店頭で並び、鮮度が良く、味が乗ったイチゴを食べてほしい」と語り「さらにスキルアップし、皆さんの期待に応えられるものを作りたい」と意気込んでいます。石川さんが栽培するイチゴは、5月末ごろまで店頭で並び予定です。

「新鮮なイチゴを味わってほしい」と笑顔で話す石川智之さん



ダイヤルイン(各部署へ直通です)

- ◆観光商工課 ☎46-5572
- ◆保健センター ☎46-5571
- ◆教育委員会 ☎46-5576
- ◆町立幼稚園 ☎46-2575
- ◆町学習交流施設「エビカ」 ☎34-6656
- ◆道の駅平泉 ☎48-4795

◆役場(代表) ☎46-2111

◆建設水道課 ☎46-5569

◆子育て支援課 ☎34-5548

◆議会事務局 ☎34-5595

◆平泉小学校 ☎46-2202

◆平泉文化遺産センター ☎46-4012

◆浄土の館 ☎48-3451

◆町民福祉課 ☎46-5562

◆農業委員会 ☎46-5567

◆総務課 ☎46-5540

◆平泉保育所 ☎46-2767

◆長島小学校 ☎46-2203

◆世界遺産推進室 ☎46-2218

◆総務スタートアップオフィス ☎34-7266

◆税務課 ☎46-5563

◆農林振興課 ☎46-5564

◆まちづくり推進課 ☎46-5578

◆長島保育所 ☎46-2007

◆平泉中学校 ☎46-2205

◆悠久の湯平泉温泉 ☎34-1300

まちの最新情報を発信中!

- ◆町移住定住 info 「X」ページ
- ◆町公式 Facebook ページ
- ◆町ホームページ
- ◆広報紙アプリ「マチイロ」
- ◆エフエム岩手(80.3MHz)「世界遺産ひらいずみ」 毎週月曜日 12:00~12:25
- ◆FMあすも(79.5MHz)「ウィークリーひらいずみ」 毎週土曜日 8:00~8:30

お知らせ

お知らせ

住宅用新エネルギー設備導入補助金事業

脱炭素社会の実現に向けて、新エネルギーの活用を促進するため、町内の住宅に新エネルギー設備を設置する場合の費用の一部を補助します。予算がなくなり次第、受け付けを終了しますので、早めの申請をお願いします。

補助の詳しい内容や申請方法は、問い合わせてください。

対象設備	限度額	補助額の算定
①太陽光発電設備 ※新設で、蓄電設備と併設(出力が10kW未満)	10万円	最大出力1kWあたり20,000円(1,000円未満は切り捨て)
②蓄電設備(定置用) ※新設で、太陽光発電設備と併設(蓄電容量10kW未満)	10万円	蓄電容量1kWあたり20,000円(1,000円未満は切り捨て)

問い合わせ先…町民福祉課 ☎46-5562

一関清掃センターリサイクルプラザの利用案内

リサイクルプラザで「知って」「学んで」「体験」しませんか。施設見学やリメイク体験を通じて、リサイクルや環境問題について考えます。

「施設見学」
随時受け付けます(団体は要予約)。

「リメイク体験」
5人以上のグループが利用できます(要予約)。リメイク教室は、4月を除く毎月第3水曜日(9:30~12:00)に開催します(日程変更の可能性あり)。

「再生品抽選販売」
4月を除く偶数月に実施しています。

問い合わせ先
一関清掃センターリサイクルプラザ ☎21-2157

産前産後期間の国民年金保険料が免除となります

出産を控えている人は、出産予定日または出産日が属する月の前月から4カ月間の国民年金保険料が免除されます。出産予定日の6カ月前から、役場の国民年金担当窓口で手続きできます。

問い合わせ先…一関年金事務所 ☎23-4246

広報クイズ

問題: ①中学生が考案したSDGスロゴマークは何個?
②の藤原まつり「源義経公東下り行列」で源義経公役を務める俳優は?
③今月号のどこかに、ちようちよがいます。↓そのページは?

アンケート: 広報に関する意見など自由にお書きください。
応募方法: はがきにクイズの答え、アンケート、住所、行政区、氏名、年齢を書いて応募してください。イラスト、町への要望なども募集しています。全問正解者の中から抽選で2人に、500円分の平泉町共通商品券をプレゼントします。

あて先: 〒029-4192 平泉町平泉字宮羅山45番地2 平泉町役場 公聴広報係
締め切り: 4月15日(月)
(当日消印有効)

先月号の答え
①子育て支援課
②3方式 ③11号
商品券当選者
応募は7通で、7人が正解でした。次の2人に商品券を贈ります。おめでとうございます!
島山 洋子さん(10区)
前田 フミ子さん(14区)

町地域おこし協力隊 Vol.9 ひらいずみ活動通信

都市部から町内に移住した地域おこし協力隊員による連載「ひらいずみ活動通信」。今回は、東京都出身の山内彩さんです。



プロジェクトの準備作業中です

「デジタル化プロジェクト」の紹介



やまうち あや
山内 彩さん

今回は、翁知屋さんと共に行っているデジタル化プロジェクトについて紹介します。

現在、オープン準備中の翁知屋展示室での利用を目的とした、スマートロックの開発と導入サポートをしています。スマートロックの導入により、無人での入退室管理が可能となり、運用の効率化と利便性の向上を目指しています。まだ試験運用の段階ですが、オープンした際は、鑑賞と共に、新しいシステムを体験しにお越しく下さい！

1年間の活動へのご理解とご協力に心から感謝申し上げます。新年度も、少しでも地域に貢献できるよう努めますので、変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

新たに加わる隊員3人の取り組みも紹介します！

町の地域おこし協力隊員として、4月1日付けで新たに3人が着任し、山内さんと河野綾華さん、新井泰雄さんと合わせて6人となります。新しい隊員は、5月号で紹介予定です。この連載では今後、隊員6人の活動を紹介しますので、ご期待ください。